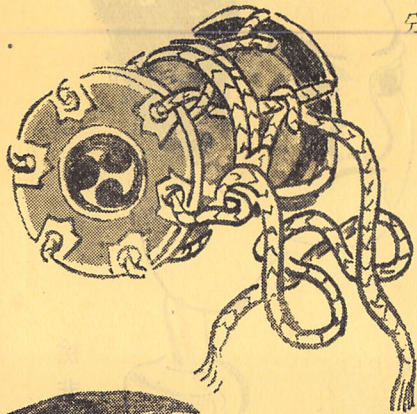


羯鼓

京鹿子娘道成寺に使ひます

高さ四寸一分  
横幅  
四寸九分  
紐  
一尺二寸  
と  
三尺一寸  
五分

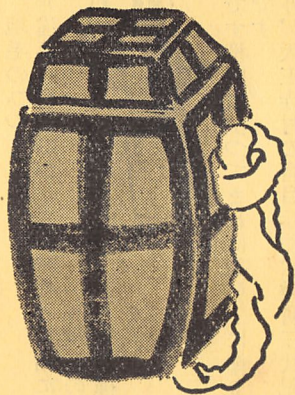


文樂人形小道具圖解 其十

齋藤清二郎解説並繪

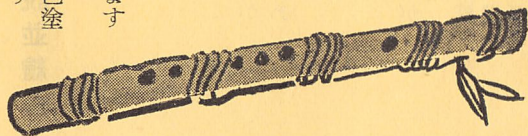
鍔櫃

熊谷陣屋致盛卿の鍔櫃茶色塗紙製  
高さ  
一尺五寸



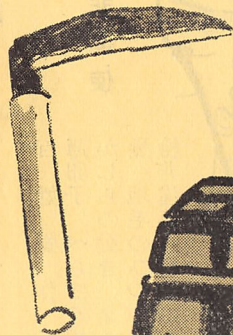
青葉の笛

脇ヶ濱熊谷陣屋で使ひます  
致盛卿が所持の笛  
長さ一尺一寸六分丸綠色塗  
青葉が二葉ついてゐます



鎌

彌作鎌腹に使ひます  
鎌五寸五分 柄六寸八分



★長期建設

國民精神總動員  
舉國一致・盡忠報國・堅忍持久

★國を護つた傷兵護れ

★金製品を賣りましたか★

前賣切符

一等席指定券に限り五日前より左記  
場所にて前賣開始致します。

四ッ橋 文樂座  
電話南四七壹壹番  
心齋橋筋 京阪案内所  
電話南一八三六番  
朝日ビル プレイガイド  
電話北濱三九九五番

◇團體の御申込みは特に御便宜に御  
取計ひ申上げます

◇御案内

お下足の用意は御座いますが  
靴草履はそのまゝ御入場出來  
ますので御便利です

◇御観料◇  
一等席・三円三十錢  
(御座席三十錢上り)  
二等席・一円三十錢  
三等席・六錢  
(他に各等入場税一割)  
(初日は各等割引料金)

四ッ橋 文樂座

電話南 三三〇七番

◇出演者

病氣其他の事故にて出場不可能の場合は乍勝手  
代役にて相勤めしますから豫め御諒承願ひます。

奉頌 皇紀二千六百年

初春の  
人形淨瑠璃

元旦初日

初日より七日迄二時開幕  
八日より毎日三時開幕



四ッ橋 文樂座

第一 京鹿子娘道成寺

鶴澤友次郎調  
竹源太夫  
竹播路太夫  
竹津磨子太夫  
竹佐太夫  
野友太夫  
鶴澤友三郎  
鶴澤友三郎

(人形役割)

白拍子花子  
雲念坊  
信念坊  
雲念坊  
安養坊  
吉田玉幸  
吉田玉幸  
吉田玉幸  
吉田玉幸  
吉田玉幸

(幕間 十分)

第二 一谷嫩軍記

脇ヶ濱の段

竹相生太夫  
竹呂太夫  
豊新左衛門

(人形役割)

石屋彌陀六  
須藤忠運  
須藤忠運  
須藤忠運  
須藤忠運  
須藤忠運  
須藤忠運  
須藤忠運  
須藤忠運  
須藤忠運

(幕間 十分)

熊谷陣屋の段

竹大隅太夫  
豊廣助  
豊古鞍太夫  
鶴澤清六

(幕間 十五分)

第三 新曲 三入片輪

鶴澤道八調 榎茂都陸平振附

豊竹相生太夫  
豊竹呂太夫  
豊竹相太夫  
豊竹相太夫  
豊竹相太夫  
豊竹相太夫  
豊竹相太夫  
豊竹相太夫  
豊竹相太夫  
豊竹相太夫

(人形役割)

有徳人  
有徳人  
有徳人  
有徳人  
有徳人  
有徳人  
有徳人  
有徳人  
有徳人  
有徳人

(幕間 十五分)

第四 義士銘々傳

竹本鍛太夫  
鶴澤寛治郎  
竹本津太夫  
鶴澤友次郎

(人形役割)

百姓彌作  
女房おかや  
萱野和助  
代官七太夫  
大星由良之助  
狸の角兵衛  
吉田文五郎  
吉田文五郎  
吉田文五郎  
吉田文五郎

(幕間 十分)

第五 由良湊千軒長者

竹本南部太夫  
竹重部太夫  
竹伊達太夫  
竹友衛門  
鶴澤八郎  
鶴澤鶴太郎

(人形役割)

山の段  
安壽姫  
對丸  
吉田光之助  
吉田光之助

(幕間 十分)

第六 關取千兩幟

豊竹駒太夫  
竹織太夫  
竹富太夫  
竹富太夫  
竹富太夫  
竹富太夫  
竹富太夫  
竹富太夫  
竹富太夫  
竹富太夫

(人形役割)

猪名川内の段  
女房おとわ  
猪名川内の段  
猪名川内の段  
猪名川内の段  
猪名川内の段  
猪名川内の段  
猪名川内の段  
猪名川内の段  
猪名川内の段

(幕間 十分)

第七 女夫の春駒

竹豊竹相生太夫  
竹豊竹相生太夫  
竹豊竹相生太夫  
竹豊竹相生太夫  
竹豊竹相生太夫  
竹豊竹相生太夫  
竹豊竹相生太夫  
竹豊竹相生太夫  
竹豊竹相生太夫  
竹豊竹相生太夫

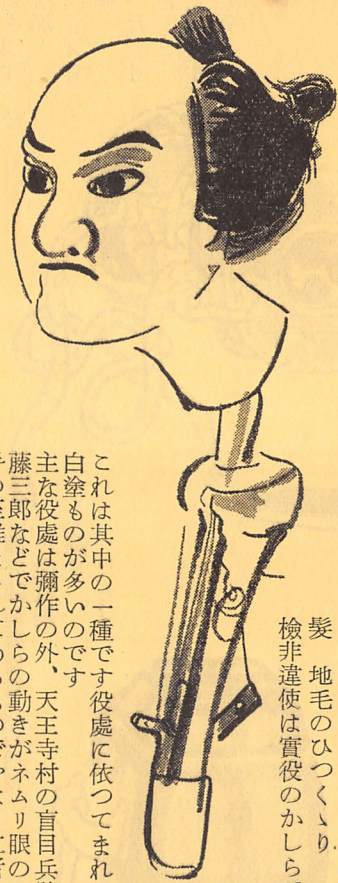
(人形役割)

引ぬき万才  
豊竹相生太夫  
豊竹相生太夫  
豊竹相生太夫  
豊竹相生太夫  
豊竹相生太夫  
豊竹相生太夫  
豊竹相生太夫  
豊竹相生太夫  
豊竹相生太夫

(打出し)

文樂人形圖解 其十

齋藤清二郎解説並繪



檢非違使

これは其中の一種です役處に依つてまれに薄卵手に塗りますが  
白塗ものが多のです  
主な役處は彌作の外、天王寺村の盲目兵助、鎌倉三代記の安達  
藤三郎などでかしらの動きがネムリ眼のみで表情を現すのは遣  
手の至難とされてゐるものでやはり立者の使ふかしらですドグ  
ンに初代吉田玉造の印があり初代より二代玉助に傳つた名作  
です

薄卵子 べらぼう眉毛  
かしらの動き ネムリ眼  
髪 地毛のひつくり  
檢非違使は實役のかしらで時代と世話にかけて  
一等役柄の多いか  
しらで五種類程あ  
ります